

学校教育目標	個性を発揮しながら、互いのよさを認め合い、自ら課題を解決しようとする子 ~咲こう 輝こう マーガレットのように~ ○自ら学び、課題を発見し、知識や経験を活かして生きていく子を育てます。(知) ○自分を大切に、互いに認め合い、規範意識を大切にする子を育てます。(徳) ○心と体を鍛え、自他の生命を大切にする子を育てます。(体) ○地域や社会のよさを学び、自らができることを実践しようとする子を育てます。(公) ○グローバルな視野を持ち、社会とつながり、未来を創る子を育てます。(開)			
	創立 55 周年	学校長 村上 雅基	副校長 栗田 朋子	2 学期制 一般学級: 18 個別支援学級: 2

児童生徒数: 567 人	主な関係校: 希望が丘中学校 笹野台小学校 中尾小学校 東希望が丘小学校
--------------	--------------------------------------

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	希望が丘中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<言語能力> <情報活用能力> <自分づくりに関する力> <問題発見・解決能力>	希望が丘中学校 笹野台小学校 中尾小学校 東希望が丘小学校	○課題に柔軟に向き合い、主体的に学び続ける子ども ○互いを認め合い、社会のかかわりを大切にする子ども ○目標に向かってチャレンジし、自信をもって行動できる子ども ・横浜市学力・学習状況調査の結果を分析することにより、中学校区の子どもたちの特性を理解する。 ・児童生徒指導や特別活動、特別支援教育の情報交換を行う。 ・小学校と中学校の授業を相互に見学することにより、子ども像を共有する。

中期取組目標	○子ども一人ひとりを大切にしながら、地域・社会とともに歩む学校にします。 ・学習の楽しさを実感できる授業づくりを推進し、子どもの表現を大切にしながら学力を向上させます。 ・一人ひとりが自己有用感をもち、楽しく学校生活が送れるようにします。 ・健康な心身をつくるための生活習慣が形成できるようにします。 ・地域の「人」とのつながりを意識し、豊かな体験を通して、地域を愛する心を育てます。
--------	--

重点取組分野	具体的取組				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">知</td> <td>授業改善</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>重点研</td> </tr> </table>	知	授業改善	担当	重点研	①本時のめあてや学習の進め方を確認し、安心して学習に向かうことができるように授業づくりを行う。②重点研究テーマを「自分の思いを表現し、豊かに関わり合う子どもの育成を目指して」とし、国語科を中心に語彙力を高め、相手を意識して適切な言葉を選んで伝えることを通して人と豊かに関わる力を育成する。
知	授業改善				
担当	重点研				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">徳</td> <td>道徳教育</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>道徳部</td> </tr> </table>	徳	道徳教育	担当	道徳部	①道徳教育の要となる「道徳科」の授業を通して、自己を深く見つめ、よりよく生きようとする道徳的実践力を身につけられるようにしていく。 ②なかよし班活動や各行事を通して、自分も相手も大切にする心豊かな児童、自尊感情の高い児童を育てる。
徳	道徳教育				
担当	道徳部				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">体</td> <td>健康教育</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>体育部</td> </tr> </table>	体	健康教育	担当	体育部	① 学習カード、ICT機器など様々なツールを活用し、自己の課題を主体的に解決できるような授業づくりを進める。 ② 児童保健委員会、児童体育委員会を軸として児童の健康・体力の増進につながる活動を計画・実践していく。
体	健康教育				
担当	体育部				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">公開</td> <td>自分づくり教育 (キャリア教育)</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>特活部・評価委員会</td> </tr> </table>	公開	自分づくり教育 (キャリア教育)	担当	特活部・評価委員会	①生活や総合的な学習の時間で地域と関わり、自分の思いを表現しながら一人ひとりが自己有用感を高めるようにする。②「自分づくりパスポート」を学年の実態に合わせて内容を見直し、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりして、子ども自身の変容や成長を自己評価できるようにする。
公開	自分づくり教育 (キャリア教育)				
担当	特活部・評価委員会				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">いじめへの対応</td> <td></td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>児童指導部</td> </tr> </table>	いじめへの対応		担当	児童指導部	①それぞれのクラスで起こったいじめ事案をすぐに学年で共有できるように毎週の学年研で児童指導の時間をつくるようにする。②いじめ事案が起こった時にすぐに臨時的いじめ防止対策委員会を開き、今後の方針について確認、共通理解できるようにする。
いじめへの対応					
担当	児童指導部				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">人材育成・ 組織運営(働き方)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>教務部</td> </tr> </table>	人材育成・ 組織運営(働き方)		担当	教務部	①5年次以下の教員を中心にメンターチームを組織し、ベテラン教員や管理職が講師となる校内研修を継続して行い、自らの授業への活用ができるよう話し合う。②毎月、教務会で学校運営全体の見通しをもち、職員間の情報の共有を図る。
人材育成・ 組織運営(働き方)					
担当	教務部				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">特別支援教育</td> <td></td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>特別支援コーディネーター</td> </tr> </table>	特別支援教育		担当	特別支援コーディネーター	①教職員の児童理解を深めるために、校内研修を計画的に行う。②課題や困り感のある児童が、安心して学校生活を送ることができるように特別支援教室利用のシステムを整える。③通級指導教室や療育センター等の関係機関と連携を図り、学校支援体制を構築する。
特別支援教育					
担当	特別支援コーディネーター				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">児童生徒指導</td> <td></td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>児童指導部</td> </tr> </table>	児童生徒指導		担当	児童指導部	①できるだけ早い時期に児童指導・児童理解研修を行い、全職員が共通理解のもとに児童指導に当たることができるようにする。②登校支援が必要な児童に対して、本人の気持ちに寄り添いながら少しでも学校に気持ちが向くようにタブレット等を活用して学校との関わりを促していく。
児童生徒指導					
担当	児童指導部				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">地域学校協働活動</td> <td></td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>教務部</td> </tr> </table>	地域学校協働活動		担当	教務部	①地域に開かれた学校づくりをめざし、地域行事への参加や学習で交流するなど、地域との連携を強化を図る。 ②「学校関係者評価委員会」において学校教育活動への意見をいただく。③地域行事に児童や教職員の積極的な参加を推進する。
地域学校協働活動					
担当	教務部				
<table border="1"> <tr> <td>担当</td> <td>a25</td> </tr> </table>	担当	a25			
担当	a25				